

答 市内では、発達障害児の外来療養、診療及びびりハビリテーションを実施している医療機関は一院のみである。なお、平成27年度から榎瑞保育所を障害児保育の拠点園としてモデル的に運用開始すると同時に、保護者の要望に応えるためにも、療育施設の整備について検討したい。

子育ての包括的な支援体制は？

問 妊娠から出産、子育て期までの切れ目のない支援に、市として、どのように取り組んでいくのか。

答 本市では、妊娠・出産・子育ての相談や検診など、各種事業を実施し、安心して子育てができる環境づくりに取り組んでいる。また、処遇困難なケースにおいては、医療機関などによる検討会議を行い、地域で支え合う体制づくりに努めている。

今後は、妊婦などが子育てに関する情報を必要ときに取得できる新たな環境づくりについても研究していきたい。

公明党
西条市議員団

代表質問

効果と課題

合併10年の総括

問 西条市合併10年を総括し、合併の効果と今後の課題をどう考えているのか。

答 合併以降、職員数の適正化や事務事業の精査、指定管理者制度の導入、更には公債費の抑制など行財政改革に積極的に取り組んできた結果、人件費は合併後10年間で約51億円を削減し、また、地方債の現在高は約21億円縮減している。こうした効果に加え、防災や子育て支援、総合6次産業化の推進など、さまざまな施策についても積極的な推進が可能となった。

一方で、住民アンケートなどから明らかとなった課題としては、行財政の効率化、行政サービス・利便性の低下、

市全体でバランスよく発展するための取組の遅れの3点に集約されており、今後は、これらの課題に対応していく必要があると考えている。

一般質問

いじめ防止対策を！

問 市内の小・中学校におけるいじめ対策への取組状況と、人権擁護委員の活用によるいじめ防止対策について、どう取り組んでいるのか。

答 いじめは、誰にでも起こり得るという認識の下、児童・生徒が互いに認め合える人間関係づくりに努めるとともに、問題解決に向けた話し合いを行うなど、いじめの未然防止、早期解決に取り組んでいる。

また、人権擁護委員による人権SOSミニレター相談や啓発活動を積極的に実施し、引き続き問題解決に取り組みたいと考えている。

西条市民
クラブ

代表質問

どのようなもの？

まちづくり市民会議

問 市民参加のまちづくりを推進するため、まちづくり市民会議が開催されるが、この会議の目的及び内容について問う。

答 まちづくり市民会議は、まちづくり検討会と地域審議会の機能を統合し、総合計画、新市建設計画の進捗や今後のまちづくりに関する事項の検討・提言を行う組織として設立を予定していた。

こうした中で、地方創生の流れを受け、西条市まち・ひと・しごと総合戦略の策定のための組織の設置が必要となり、双方の役割が重複するため、会議の目的を総合戦略策定及び総合計画の進捗など政策的観点からの検討・提言と一本化し対応することとした。

一般質問

市民活動の推進と進捗状況は？

問 市民活動の支援拠点となる(仮称)市民活動支援センターの開設に向け、現在、どのような取組を行っているのか。

答 (仮称)市民活動支援センターについては、平成26年6月に開設準備委員会を設置し、先進地視察を行うなど、他市の事例も参考にしながら、7回にわたり検討を進めている。

今後、開設準備委員会の報告書を基に、具体的な準備を進め、平成28年1月を目途にセンターを開設したいと考えている。